

絶滅危惧種のモニタリング調査結果 [モニタリング ID12 関連]

1. 調査概要

平成 28 年度までに設定した 107 箇所のモニタリング地点について、令和 2 年度より優先順位を付け、各年 10~20 地点ずつモニタリング調査を実施している。令和 5 年度は、図 1 の 10 地点において調査を実施した（図 1：緑）。調査方法は、過年度と同様、コドラート（20m×20m 程度）内の調査対象種について、種名、確認位置、個体数、全長、シカによる食痕の有無、地表からの高さを記録した。



図1 モニタリング地点

2. 調査結果

(1) 種数の経年変化

- ・全 10 地点で 20 科 43 種が出現した（表 1）。
- ・前回（H23、H28、H29）の結果と比較し、10 地点中 5 地点（調査地 32、59、84、102、105）で種数が増加し、3 地点（調査地 2、40、82）で種数が減少した（図 2）。
- ・種数が減少した地点の消失種は、シマシユスラン、ユウコ克蘭、ガンゼキラン、カンツワブキ、ハンコクシダであった。調査地 2、40 の地点は、林床植生がヤクシカの影響で衰退していたため、食害が要因の可能性がある。調査地 82 についても、周辺はヤクシカの影響を受けて林床植生が衰退しているが、調査地は谷地にあり、ヤクシカの影響は観測されておらず、消失したハンコクシダの減少要因は不明である。

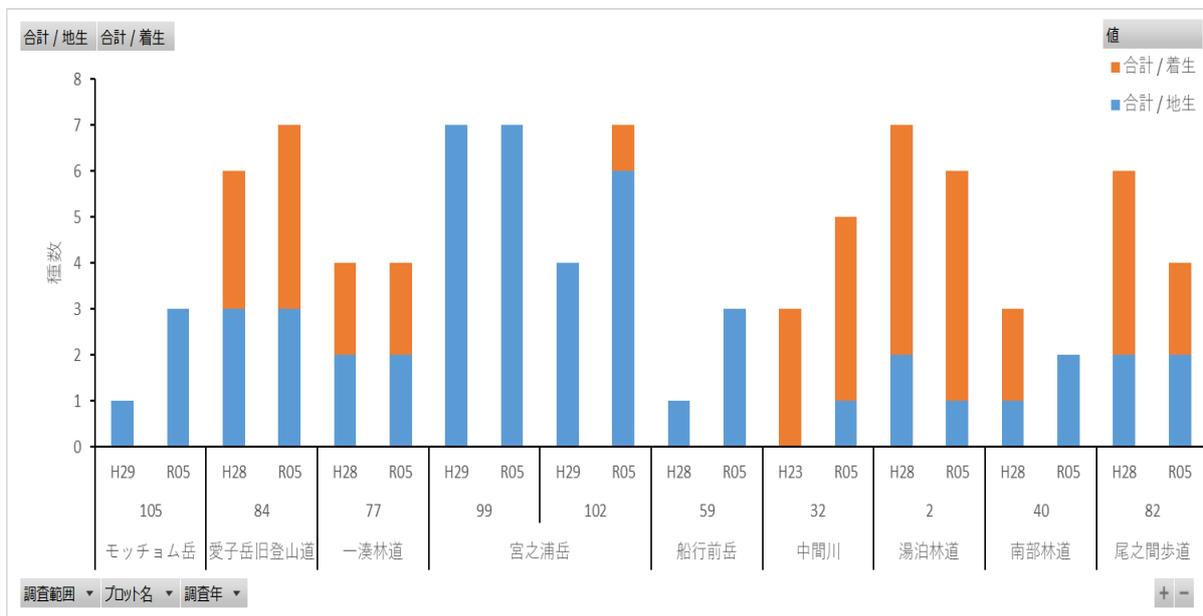


図 2 各地点の確認種数の経年変化

(2) 個体数の経年変化

- ・ 前回 (H23、H28、H29) の結果と比較し、10 地点中 8 地点で出現種の個体数が増加し、2 地点 (調査地 40、102) で出現種の個体数が減少した (図 3)。
- ・ 調査地 102 は減少が激しく、前回 (H29) の調査において、ワチガイソウが 203 個体出現したが今年は 0 個体だったこと、ヤクシマオオバコ、キバナノコマノツメなどが半数以上減少したためである。調査地点 102 は、大岩を取り囲むように設置してあり、岩肌や、岩の割れ目、地際など希少植物の貴重な生育環境となっているが、登山道から容易に踏み入ることができるため、人の踏圧が影響している可能性がある。

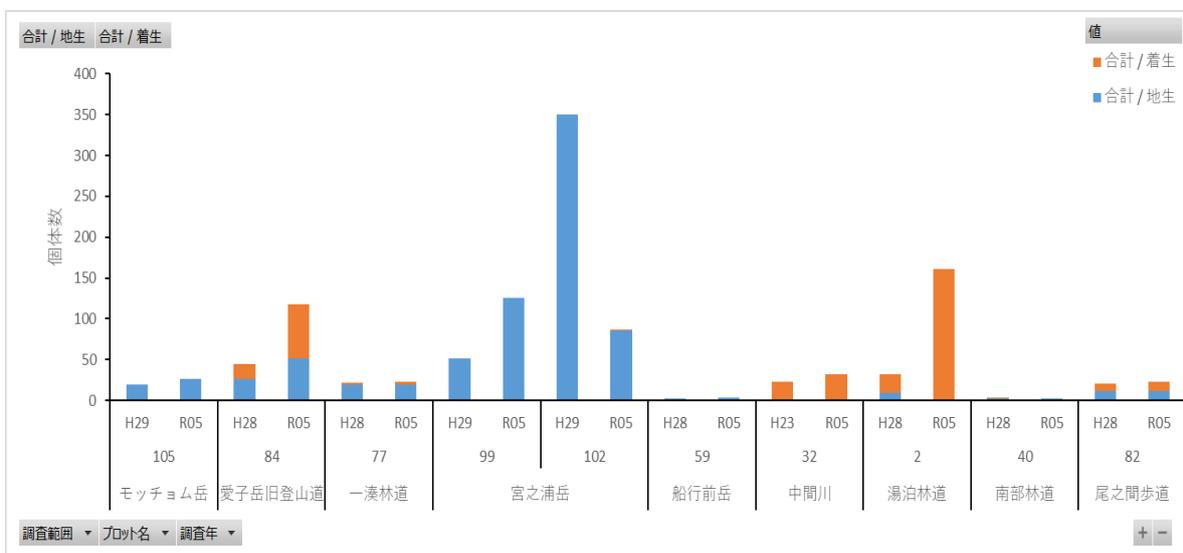


図 3 各地点の確認個体数の経年変化

(3) 国内希少野生動植物種の生育状況調査

- ・種の保存法に基づき国内希少野生動植物種に指定されている種の生育が確認された調査地は、10 地点中 6 地点であった。
- ・これら 6 地点では、5 種の国内希少野生動植物種（アオイガワラビ、フササジラン、ヤクシマタニイヌワラビ、ヤクシマリンドウ、ハナヤマツルリンドウ）が確認され（図 4）、確認地点数に変化はなかった。
- ・各地点の国内希少野生動植物種の個体数については、調査地 84 のヤクシマタニイヌワラビは 3 個体→15 個体に増加し、調査地 105 のハナヤマツルリンドウは 19 個体で変わらず、調査地 77 のアオイガワラビが 18 個体→13 個体、調査地 82 のフササジランが 3 個体→2 個体、調査地 99 のヤクシマリンドウが 3 個体→2 個体に減少した。

	
<p>アオイガワラビ</p>	<p>フササジラン</p>
	
<p>ヤクシマタニヌワラビ</p>	<p>ヤクシマリンドウ</p>
	
<p>ハナヤマツルリンドウ</p>	

図4 各地点で確認された国内希少種

表1 モニタリング地点で確認された調査対象種一覧

科	種名	地生/着生	R05確認 個体数	R05確認 地点数	確認地点
ヒカゲノカズラ科	ヨウラクヒバ	着生	3	1	32
チャセンシダ科	シマオオタニワタリ	着生	7	1	2
	フササジラン	着生	2	1	82
ヒメシダ科	アミシダ	地生	2	1	77
	タイワンハリガネワラビ	地生	10	2	77、84
メシダ科	アオイガワラビ	地生	13	1	77
	サカバイヌワラビ	地生	2	1	99
	ヒメホウビシダ	着生	1	1	77
	ヤクシマタニヌワラビ	地生	15	1	84
オシダ科	アツイタ	着生	7	1	32
	コスギイタチシダ	着生	8	1	84
	ヒロハアツイタ	着生	27	1	84
シノブ科	キクシノブ	着生	4	1	32
	シノブ	着生	0	1	2
ウマノスズクサ科	カンアオイsp.	地生	1	1	59
	クワイバカンアオイ	地生	1	1	82
	ヤクシマアオイ	地生	6	1	105
サトイモ科	ヤクシマヒロハテンナンショウ	地生	16	1	102
シュロソウ科	ツクシショウジョウバカマ	地生	7	1	99
ラン科	オサラン	着生	0	1	2
	ガンゼキラン	地生	1	1	2
	シマシュスラン	地生	1	1	32
	タネガシマムヨウラン	地生	2	2	40、59
	チケイラン	着生	17	1	32
	ツルラン	地生	2	2	40、59
	トクサラン	地生	10	1	82
	ヒメトケンラン	地生	1	1	105
	ミヤマムギラン	着生	150	1	2
	ヤクシマヒメアリドオシラン	地生	35	1	84
	ユウコクラン	地生	10	1	82
イネ科	ヤクシマノガリヤス	地生	1	1	102
キンポウゲ科	オオゴカヨウオウレン	着生	30	1	84
	ヤクシマカラマツ	着生	1	1	102
ユキノシタ科	ヤクシマダイヤモンドソウ	地生	3	1	102
オトギリソウ科	ヤクシマコオトギリ	地生	16	1	99
スマレ科	キバナノコマノツメ	地生	26	1	102
ツツジ科	ヤクシマシャクナゲ	地生	5	1	99
アカネ科	ヤクシマムグラ	地生	81	1	99
リンドウ科	ハナヤマツルリンドウ	地生	19	1	105
	ヤクシマリンドウ	地生	4	2	99、102
オオバコ科	ヤクシマオオバコ	地生	38	1	102
キク科	イッスンキンカ	地生	12	1	99
	カンツワブキ	地生	3	1	2